

# セカンドキャリア：引退競走馬をめぐる旅

片野ゆか著 集英社  
2023.12. 2F図書 (788.5//Ka82)

日本では競馬のために毎年7000頭ものサラブレッドが生まれてきますが、引退後はどうなるのか…？競走馬の「その後」を追うことは長年タブーとされてきました。しかしここ数年で状況は変わってきています。アニマルウェルフェアの浸透や、あのスマホゲームの人気も追い風となり、業界内外の人々の努力が実を結びつつあります。一頭でも多くの馬が幸せな「第二の馬生」につながることを願わずにはいられません。



紹介者：吉實

## 理学部化学科・薬学部生のための SciFinder<sup>n</sup>講習会

4月8日(月)

13:45~15:30 (3限)

講師：化学情報協会  
専門講師  
開催方法：オンライン  
申込：フォーム



# 人として、宗教、哲学、そして倫理

水田記念図書館長 薬学部教授 関 俊暢

生成系AIの話題が、科学技術、経済の分野にとどまらず、教育現場でも溢れていますが、結局は、“人”とは何なのか、という問いに立ち返ることが必要なのではと、最近はおもっています。

ノーベル賞作家であるカズオ・イシグロの「クララとお日さま」(ハヤカワepi文庫)は、人工親友として生まれたAI搭載のロボットが買い取られた先の病弱な少女の回復を願い、宗教的な願いを持つ物語で、興味深く読むことができる小説です。モデルに基づく予測は、尤度(尤もらしさ)を基準にして、連続する確率の変化として表されるのが基本なのかもしれませんが、現実世界で我々が経験する事象は、多くの場合、離散的に生じ、その中で人は「奇跡」を経験するのでしょうか。機械学習などの手法がそのような問題にどう適合していくのか、ということは今後研究が発展していく分野かもしれません。しかし、私のような専門外の人間には少し不思議な感じがします。ビッグデータの解析で得られる代表値(平均値や中央値)と、人が感じるそれとのずれ、というものが研究の対象になるような気がします。

人としてどう生きるかは、哲学が取り扱う問題ですが、「君たちはどう生きるか」(吉野源三郎著、岩波文庫)は、非常に長いロングセラーで、「漫画 君たちはどう生きるか」(イラスト羽賀翔一、マガジンハウス)が近年出版されて、それも含めて今でも多くの読者を獲得しています(文庫版は岩波文庫歴代1位の180万部以上)。その出版が1937年で、太平洋戦争(1941~1945)の開戦前に記述された子ども用の倫理の本であり、教育に関わるものとして、その勇気と使命感に尊敬の念を抱きます。昨年(2023年)には、映画「君たちはどう生きるか」(原作・脚本・監督 宮崎駿、スタジオジブリ)が公開され、米ゴールデングローブ賞アニメ映画賞を受賞しています\*。従来からのジブリ映画ファンからは色々な意見もあったようですが、私自身は娯楽作品としても十分に楽しめるものでした。映画だけの人は、是非吉野源三郎著の書籍版もお読みいただければと思います。

「暇と退屈の倫理学」(國分功一郎著、新潮文庫)は、2022年に東大・京大で1番読まれた本と帯に記載されていて、結局AIが注目される一方で、人について考えることが今求められていることの表れだと思います。医師・教員・トラック運転手などの長時間労働が問題となり、それが社会の歪みとなっていますが、もし、8時間労働が人にとって適切であり、睡眠など生活に必要な時間をさらに引いた残りの暇な時間が人々に平等に与えられたなら、我々は過ごすのでしょうか。本書は、暇の問題の哲学的取り扱いの歴史を解説していくのですが、「浪費と消費」の対比に関する論説は一考に値すると思います。「消費」の無限ループから脱出した方には、価値ある1冊になるかと思えます。

AIに関わる小説で、私が読んで、また映画化もされているものに、「オリジン」(ダン・ブラウン著、角川文庫)、「AI崩壊」(浜口倫太郎著、講談社文庫)などがあります。興味がある方はどうぞ。

AIが当たり前利用される世の中では、単なる情報は価値が低く、図書館の機能も資料(情報)の提供から、それらを利用した“学び”の提供に移行しつつあります。水田記念図書館では、“学び”の場を提供する企画も多く催しています。皆様の積極的な参加、利用をお願いいたします。

\*映画「君たちはどう生きるか」はアカデミー賞長編アニメ映画賞を受賞しました。



## 本の展示



新入生応援展示「Let's Start Campus Life」開催中。新入生におすすめの本を展示しているよ！借りに来てね。

## ビンゴに参加しよう

4~5月の間、ビンゴ企画「MISSION IN LIBRARY」開催中！図書館から与えられたミッションをクリアしてビンゴをそろえよう。



ちょっとしたプレゼントもあるよ！！



## 1,200誌以上の雑誌が読み放題 「dマガジン for Biz」

1,200誌以上の雑誌がスマートフォンやタブレットで読める「dマガジン for Biz」が4月よりサービス開始！アニメ、ファッション、グルメ、趣味…などなど、人気雑誌が揃っています。

使い方はとっても簡単！

- ①「dマガジン」のアプリをダウンロード ※位置情報の許可を「アプリ使用時は許可」に設定
- ②図書館内で学内Wi-Fiにつないでアプリを開く



紹介された本は図書館で読めます。4月中はカウンター前に展示します。

- 『クララとお日さま』カズオ・イシグロ著；土屋政雄訳 早川書房
- 『君たちはどう生きるか』(岩波文庫)吉野源三郎著 岩波書店※
- 『漫画君たちはどう生きるか』吉野源三郎原作；羽賀翔一漫画 マガジンハウス
- 『暇と退屈の倫理学』國分功一郎著 朝日出版社※
- 『オリジン』(角川文庫)ダン・ブラウン著；越前敏弥訳 KADOKAWA
- 『AI崩壊』(講談社文庫)浜口倫太郎著 講談社

※『君たちはどう生きるか』の岩波文庫版と、『暇と退屈の倫理学』の新潮文庫版は3Fシラバスルームにあります。

- 3/7 2023年度地域相互協力図書館合同研修会開催
- 3/7 理学部化学科佐野先生研究室訪問
- 3/8 2023年度第2回図書館合同(運営・選書)委員会、JURA運営委員会

- 3/26 鶴ヶ島市立図書館協議会に参加
  - オープンキャンパス (3/24) 図書館見学82名 キーワードラリー参加者44名
  - 図書館見学 (3/15) 高校生他46名 (3/6) 理学部化学科新1年生37名



図書館に行ってみよう!

P.2-3



年度開館カレンダー



図書館公式X



オンライン相談

図書館に  
行ってみよう!

学生アドバイザーキャラクター  
『ホニ君ス』



図書館は大学生活に欠かせない施設だよ。  
みんなが図書館を活用できるように、  
中を案内していくよ!

1階

入口



学生証をタッチして入るよ!  
忘れたときは、インターホン  
を押して、手続きすると入れるよ。

カウンター



本の貸出・返却のほか、資料相談も受け  
つけているよ。情報のプロ、司書資格を  
持った図書館員がいるから、わからない  
ことがあったら声をかけてみよう!

学生アドバイザー



アドバイザーの  
目印は  
青いパーカー



教員の推薦を受けた学生・大学院生が、  
みんなをサポート! 学生目線でいつも  
相談に乗ってくれるよ。1・3・7階に  
在席しているから、声をかけてね。

展示



新入生応援展示を4~5月中  
旬までやってるよ! ビンゴ  
企画も開催中! ミッション  
をクリアして、景品をま  
らっちゃおう!



ビンゴの  
詳細は  
4ページをみてね!

これなら  
勉強に困らないね

書架中央



各分野の専門学術書が揃っているよ。  
大学での学習に欠かせないフロアだ!

COMICULコーナー



COMICUL (コミカル) コーナー  
には、先生おすすめのマンガ  
があるよ。マンガだけでなく、  
関連本もあるので見てみ  
てね。

シラバスルーム



授業で使う教科書や参考書が並んでい  
る、学習に大活躍のコーナー。試験期間  
を除き、貸出もできるよ!

2階へ

文学賞コーナー



「芥川賞」「直木賞」「本屋大賞」など  
文学賞を受賞した本が並んでい  
るよ。2023年貸出ランキングを展  
示中!

3階へ

ビブリオバトル

文化祭でも  
やるよ



ビブリオバトルとは、制限時間5  
分間でおすすめの本を紹介しあう  
書評ゲームだよ!

図書館の外でも  
楽しめるコンテンツ  
があるよ

電子ブック



スマホで読める電子  
ブックもあるよ。  
「LibrariE」では、  
ラノベや就活などの本  
が読めるんだ!



9階まで作りこまれて  
いるから、やってみてね

図書館クエスト



図書館を完全再現した  
RPGゲームで、利用方  
法を学ぶことができる  
よ! プレイしてみて。



どうだったかな?  
少し雰囲気があったかな?  
紹介しきれなかった魅力が  
まだまだあるよ!  
さあ、実際に  
図書館に行ってみよう!

さっそく  
本を読みに行こ



勉強にも  
話し合いにも  
便利だなー

ラーニングcommons



7・8階は電子黒板やプロジェクターがあって、話し  
合いに便利なフロア! 7階ではいろんなイベントを  
開催することもあるよ。

こんなイベントを  
やったりもするよ

ライブラリーラウンジ



普段は体験できない、学部を超  
えた交流を楽しめるイベントも  
やってるよ!